

モニタリング結果表

公の施設名	登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター及び迫野鳥観察館	所管課	環境課
施設の所在	登米市迫町新田字新前沼254番地(サンク)、前沼149番地35(野鳥)	電話	0220(28)2986
指定管理者	有限会社伊豆沼農産	(代表)	代表取締役 伊藤秀雄
指定期間	令和3年4月1日～令和6年3月31日	設置条例名	登米市サンクチュアリセンター条例

1 利用状況

(1) 利用状況

項目	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	備考
稼働(開館)日数	307	284	264	247	278	
利用件数	-	-	-	-	-	
内減免件数	-	-	-	-	-	
利用者数	14,157	13,876	10,448	10,561	10,052	

(2) 施設管理以外で仕様書に定める事業の実施状況(例: 公民館事業)

事業名	平成30年度実績		令和元年度実績		令和2年度実績		令和3年度実績		令和4年度実績		備考(内容)
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	
展示事業	2	295	3	4,018	4	1,398	4	2,112	4	1,700	伊豆沼写真展、漁具展示、伊豆沼・内沼フォトコンテスト、かま神さまとその仲間たち展
環境教育事業	8	146	23	502	13	151	10	239	25	427	伊豆沼ワイズユースワークショップ(22回)、伊豆沼連続講座(3回)

2 項目別評価

評価大項目				指定管理者評価	所管課評価
<b>(総括1) 利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られているか</b>				<b>S</b>	<b>S</b>
中項目	(1) 利用者の平等な利用の確保	小項目	①利用者に対して公平に利用機会を提供しているか	S	S
			②利用者の意見要望を把握し、適切に対応しているか	A	
			③利用者層拡大、利用者数増加の取組を行っているか	S	
	(2) サービス向上の具体的な手法及び期待した効果	小項目	①利用者へのサービス向上のための取組を行っているか	A	S
②施設や周辺環境を活用して自然保護思想の普及を図ることを目的とした取組を行っているか			S		
③施設情報の提供に係る広報の取組を行っているか			S		
④地域や関係団体との連携を行っているか			S		
指定管理者の自己評価				新型コロナウイルス感染症拡大及び令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響等により、計画していた事業が実施できないことがあったが、展示及び環境教育事業は参加者の満足度が高かった。各種事業の内容は、参加できなかった人も閲覧できるよう、デジタル化を図り記録を蓄積していきたい。	
施設所管課による評価				ホームページ等を通じた積極的な情報発信が行われているとともに、地域住民及び関係団体等と連携し周辺環境を活用した取組が展開されている。また、長期休暇期間等に休館日の変更を行い開館することで、利用者数の増加及び公平な利用機会の提供に努めていることから、上記の評価とした。	
<b>(総括2) 公の施設の適切な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られているか</b>				<b>A</b>	<b>A</b>
中項目	(1) 施設の適切な維持管理	小項目	①設備の保守点検や清掃、警備、衛生管理、環境整備等の維持管理業務を適切に行っているか	S	S
			②個人情報保護対策は適切に行われているか	A	
			③省エネ、ゴミの抑制、リサイクルの推進等の環境負荷低減の取組を行っているか	A	
			④施設の安全確保のための取組を行っているか	S	
			⑤損害保険等必要な保険に加入しているか	S	
	(2) 施設の管理運営経費	小項目	①収支計画書と比較して収支状況は適正か	S	A
			②管理業務効率化・管理経費縮減の取組を行っているか	A	
③収入確保の取組を行っているか			-		
指定管理者の自己評価				・新型コロナウイルス感染症対策にかかる衛生管理の作業が増加した。 ・地震の影響による施設内外の修繕、光熱水費の増加による管理経費節減に苦労した。来年度は光熱水費のさらなる増加が予想されるため、維持管理業務の適正化・効率化を進めながら、経費縮減に努めていきたい。	
施設所管課による評価				仕様書及び事業計画に基づいた適切な施設の維持管理が行われており、おおむね水準どおりであるため上記の評価とした。	

評価大項目				指定管理者 評価	所管課 評価	
<b>(総括3) 公の施設の設置目的を達成するために事業計画等に沿った管理を安定して行う能力を有しているか</b>				<b>S</b>	<b>A</b>	
中項目	(1) 安定的な運営が可能となる組織力	小項目	①施設管理の運営に関する基本的な考え方を持っているか	S	S	
			②施設の管理運営を行うための適切な人員体制となっているか	S	S	
			③施設の管理運営に関わる従業員の労務管理は適切か、また福利厚生の実施を図っているか	A	A	
			④施設の管理運営に関わる従業員の指導育成は計画どおり行っているか	A	A	
			⑤緊急時の危機管理体制は整備されているか	S	A	
	(2) 安定的な運営が可能となる経理的基盤	小項目	①団体の財務状況は健全か	A	A	
			②経理規程等が整備され、指定管理業務に係る経費が適切に管理されているか	S	A	
			③団体としての監査体制があり、適切に監査を行っているか	S	A	
	指定管理者の自己評価		<p>管理人の来館者サービス向上を図るスキルアップ研修を実施できた(環境教育事業への参加等)。来年度は外部研修にも参加させ、さらなるスキルアップを図りたい。</p>			
	施設所管課による評価		<p>職員の資質向上が図られ、仕様書及び計画書に基づいた適正な管理運営がされており、安定的な運営が行われていることから、上記の評価とした。</p>			
<b>(総括4) ※その他施設の設置目的を効果的に達成するために必要と認める事項</b>						
中項目	(1) ※市が評価項目を設定していた場合、又は指定管理者が申請時に提案した内容がある場合は、この欄に記載し、評価を行う。	小項目				
	(2)	小項目				
指定管理者の自己評価						
施設所管課による評価						

### 3 総合評価

総合評価	指定管理者による総括自己評価		施設所管課による評価	
	評価		評価	
S	S	<p>・令和4年3月16日に発生した福島県沖地震の影響で施設に大きな被害が発生したため、長期の休館を余儀なくされた。また、7月16日に発生した大雨の影響ではすまつりが中止となったため、夏季の観光客が減少した。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大による影響も続き、目標としていた来館者数を達成できなかった。</p> <p>・環境教育事業ならびに展示事業については、地域住民の協力により、プログラムの内容が充実しており(展示事業は河北新報、大崎タイムスなどの紙面にも掲載された)、参加者からの満足度も高い。</p> <p>・令和5年度は、自主事業を再開し、環境教育事業及び展示事業の企画に取り組み、新型コロナウイルス感染症拡大前の来館者数獲得に取り組みたい。さらに、運営にあたっては、外部企業や地元住民との連携強化を図る。</p>	A	<p>自然災害による休館や新型コロナウイルス感染症拡大の影響などにより、施設利用者の獲得に苦慮する中で、地域住民や関係機関と連携し、充実した環境教育事業を提供する取組が実施された。前年度と比較して施設利用者数は減少しているものの、環境教育事業や展示事業の内容を工夫し、施設利用者の獲得に努めている。</p> <p>施設の維持管理については、仕様に基づいた適正な体制が整えられており、総合的には水準どおりの管理運営が行われている。また、地域住民等と連携した人材育成や施設の管理運営に有効な知識を有する人材の起用など、事業の充実に向け取り組んでいる。</p> <p>これまでの取組に加え、人材育成が進むことでさらなる事業の拡充が図られ、施設利用者の増加が期待される。</p>